



平成26年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ

コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 晃洋

問合せ先責任者 (役職名) IR部マネージャー (氏名) 石井 礼人

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成26年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第3四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第3四半期	7,451	8.6	471	169.7	495	145.8	204	187.4
25年6月期第3四半期	6,864	—	174	—	201	—	71	—

(注) 包括利益 26年6月期第3四半期 205百万円 (121.9%) 25年6月期第3四半期 92百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第3四半期	40.30	39.63
25年6月期第3四半期	14.26	13.93

(注) 平成25年6月期第1四半期から四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年6月期第3四半期	4,872		3,492		71.4	
25年6月期	4,322		3,327		77.0	

(参考) 自己資本 26年6月期第3四半期 3,477百万円 25年6月期 3,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
26年6月期	—	0.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年6月期の配当予想は未定としております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	10,000	10.0	500	69.3	500	45.5	200	41.9	39.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1. 上記の1株当たり当期純利益は、本四半期決算短信の発表日現在における発行済株式総数(5,109,367株)を基に算出しております。

2. 平成26年6月期の個別業績予想につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期3Q	5,109,367 株	25年6月期	5,034,258 株
② 期末自己株式数	26年6月期3Q	228 株	25年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期3Q	5,074,533 株	25年6月期3Q	4,989,265 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや各種政策の効果が発現する中で、家計所得や投資が増加し、企業収益は改善しました。また、個人消費は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要もあって、増加しました。

モバイルビジネスを取り巻く環境として、スマートフォン契約比率(注1)は、平成25年9月末の42.2%から、平成26年3月末には46.6%、平成27年3月末には53.6%に増加し過半数に達すると予測されています(注2)。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をひたむきに追究しつづけると共に、当期は、以下を中期目標の達成戦略として事業拡大に努めています。

1. OS系ファースト
2. サスペンスドラマアプリ及び海外市場向けの拡張
3. 12ヶ月回収テレビCM

なお、当第2四半期から、当社が提供する、モバイル端末で気軽に楽しむことができるストーリー型のコンテンツを新たに「ドラマアプリ」とし、更なる事業展開を図っています。「ドラマアプリ」は、恋愛やサスペンスといった様々なストーリーをユーザー自らが主人公となって読み進めることができ、ゲームでもマンガでもない、新しいスタイルのエンターテインメントです。

売上は、国内市場において、パーソナルアプリは、キャリア公式PF(注3)向けがPF環境の急変を受け想定通り減少を続けましたが、OS系PF(注4)向けが前年同期比で大幅に増加し、キャリア公式PF向けと同水準の規模まで拡大しました。ソーシャルアプリは、OS系PF向けが前年同期比で大幅に増加したことに加えて、ソーシャル専用PF(注5)向けも順調に増加しました。また、海外市場において、L10N(注6)タイトル、SFスタジオ(注7)発タイトルともに、順調に増加しました。全体としては、前年同期比及び計画比で増加しました。

費用は、ソーシャルアプリ売上・OS系PF向け売上の増加による販売手数料の増加、増員による人件費の増加、OS系タイトルの増加等に伴う制作外注費の増加、オフィス増床による賃料の増加等がありました。広告宣伝費については、第1四半期及び第3四半期に大規模なテレビCM出稿を実施しましたが、全体としては効率的に使用し、前年同期比で大幅に減少しました。

利益は、販売手数料等の増加を、売上の増加及び広告宣伝費等の減少で吸収し、前年同期比及び計画比で大幅に増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高7,451,823千円(前年同期比8.6%増)、営業利益471,878千円(前年同期比169.7%増)、経常利益495,989千円(前年同期比145.8%増)、四半期純利益204,496千円(前年同期比187.4%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

(国内市場)

パーソナルアプリにおいては、恋愛ドラマアプリは、第3四半期の新規タイトル「今宵、妖しい口づけを」「王子様のプロポーズSeason2」「最後の恋、僕にください」が好調に立ち上がり、計画を上回りました。既存タイトル「誓いのキスは突然に」も好調に推移しました。サスペンスドラマアプリは、第4四半期投入の新編及び新タイトルの制作を進めてきました。

集客は、平成26年1月にテレビCMを出稿し、概ね計画通りの効果が得られました。

ソーシャルアプリにおいては、第3四半期の新規タイトル「恋人は専属SP Love Mission」が順調に立ち上がりました。既存タイトル「誓いのキスは突然に」「王子様のプロポーズII」「王子様のプロポーズ」が好調に推移しました。

集客は、OS系PF向けのモバイル広告出稿等を行い、計画通りの効果が得られました。

(海外市場)

L10Nタイトルにおいては、新規タイトル「Our Two Bedroom Story(注8)」「Kissed by the Baddest Bidder(注9)」「Serendipity Next Door(注10)」が順調に立ち上がり、計画を上回りました。

SFスタジオにおいては、新規タイトルの投入はなく、USオリジナルの推進及び本社からL10Nタ

イトルの一部移管を行いました。既存タイトルは、引き続き、購買メカニズムに基づいたKPI測定とPDCA運用の強化を図りました。

- (注) 1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合
2. 出所：株式会社MM総研「スマートフォン市場規模の推移・予測(2013年10月)」平成25年10月9日発表
3. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト
4. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット
5. ソーシャル専用PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF
6. L10N：Localizationを意味する省略表記
7. SFスタジオ：米国サンフランシスコにある当社子会社
8. 邦題：「上司と秘密の2LDK」 9. 邦題：「スイートルームで悪戯なキス」 10. 邦題：「お隣さんにご用心」

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、4,872,711千円(前連結会計年度末比550,430千円増)となりました。

流動資産は、4,003,056千円(前連結会計年度末比429,540千円増)となりました。その主な要因は、現金及び預金が331,308千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、869,655千円(前連結会計年度末比120,890千円増)となりました。その主な要因は、無形固定資産が84,340千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,380,029千円(前連結会計年度末比385,099千円増)となりました。

流動負債は、1,379,849千円(前連結会計年度末比385,729千円増)となりました。その主な要因は、未払法人税等が236,570千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、179千円(前連結会計年度末比629千円減)となりました。その要因は、長期未払費用が629千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、3,492,682千円(前連結会計年度末比165,331千円増)となりました。その主な要因は、資本金が19,761千円増加、資本剰余金が19,761千円増加、利益剰余金が108,849千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月期の連結業績予想については、第4四半期も、中期目標の達成戦略「OS系ファースト」「サスペンスドラマアプリ及び海外市場向けの拡張」「12ヶ月回収テレビCM」を推進していくことにより、順調に推移するものと見込んでおります。

具体的には、以下の取り組みを行います。

1. OS系ファースト

(パーソナルアプリ) 配信パターン化

(ソーシャルアプリ) ネイティブ世代進化

2. サスペンスドラマアプリ及び海外市場向けの拡張

①サスペンスドラマアプリ

「新・生存率0%! 地下鉄からの脱出」の投入と新タイトルの制作

②海外市場向け

(パーソナルアプリ) USオリジナル新タイトルの投入、
L10NタイトルのSFスタジオへの一部移管

(ソーシャルアプリ) 北米版の制作

3. 12ヶ月回収テレビCM

新CMの検討

以上を踏まえ、平成26年6月期の連結業績予想は、直近の業績動向を勘案し、平成26年1月31日付の「平成26年6月期 連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した内容から変更なく、売上高は10,000百万円(前連結会計年度比10.0%増)、営業利益は500百万円(同69.3%増)、経常利益は500百万円(同45.5%増)、当期純利益は200百万円(同41.9%増)を見込

んでおります。

また、平成26年6月期の個別業績予想についても、上記と同様に変更なく、以下の通り、見込んでおります。

平成26年6月期の個別業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	8.8	780	52.6	780	39.6	480	34.8	93.95

(注)上記の1株当たり当期純利益は、本四半期決算短信の発表日現在における発行済株式総数(5,109,367株)を基に算出しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,783,950	2,115,259
売掛金	1,715,903	1,770,751
前払費用	67,688	46,048
繰延税金資産	16,405	75,660
その他	1,186	792
貸倒引当金	△11,618	△5,455
流動資産合計	3,573,516	4,003,056
固定資産		
有形固定資産	224,223	238,503
無形固定資産	248,010	332,350
投資その他の資産	276,531	298,801
固定資産合計	748,764	869,655
資産合計	4,322,280	4,872,711
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,157	124,895
未払金	7,242	16,848
未払費用	797,995	823,106
未払法人税等	33,963	270,534
賞与引当金	—	82,298
その他	64,760	62,167
流動負債合計	994,120	1,379,849
固定負債		
長期未払費用	809	179
固定負債合計	809	179
負債合計	994,929	1,380,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,762	907,523
資本剰余金	853,362	873,123
利益剰余金	1,566,550	1,675,400
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,307,479	3,455,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△893
為替換算調整勘定	19,872	22,139
その他の包括利益累計額合計	19,872	21,246
新株予約権	—	15,585
純資産合計	3,327,351	3,492,682
負債純資産合計	4,322,280	4,872,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
売上高	6,864,761	7,451,823
売上原価	1,935,948	2,454,683
売上総利益	4,928,812	4,997,140
販売費及び一般管理費	4,753,828	4,525,261
営業利益	174,984	471,878
営業外収益		
受取利息	598	565
受取配当金	—	3
為替差益	24,574	22,699
雑収入	1,631	873
営業外収益合計	26,804	24,142
営業外費用		
雑損失	—	32
営業外費用合計	—	32
経常利益	201,789	495,989
特別損失		
固定資産除却損	514	5,800
特別損失合計	514	5,800
税金等調整前四半期純利益	201,274	490,188
法人税、住民税及び事業税	163,452	359,415
法人税等調整額	△33,325	△73,722
法人税等合計	130,127	285,692
少数株主損益調整前四半期純利益	71,146	204,496
四半期純利益	71,146	204,496

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成25年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,146	204,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△893
為替換算調整勘定	21,638	2,267
その他の包括利益合計	21,638	1,373
四半期包括利益	92,785	205,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,785	205,870

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。